令和5年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立第三商業高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成
副校長、主任教諭（総務担当主任）＝事務局長、主幹教諭（教務主任兼務）、経営企画室長
計4名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務、1学年、3学年）、主任教諭（教務部総務担当、生活指導、進路指導、2学年） 計10名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）
保護司、近隣中学校長、近隣保育園長、近隣警察署生活安全課スクールサポーター、
近隣町会副会長、近隣都産業連盟事務局長、近隣企業部次長、同窓会理事（事務局長）
PTA会長 計9名

2 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和5年6月2日（金曜日）内部委員10名、協議委員6名
 - ・協議委員委嘱及び委員紹介
 - ・令和4年度学校経営報告
 - ・令和5年度学校経営計画
 - ・各校務分掌・学年からの報告
 - ・意見交換・協議
 - 第2回 令和5年11月30日（木曜日）内部委員10名、協議委員5名
 - ・本校の現状と取り組み
 - ・学校評価アンケートについて
 - ・意見交換・協議
 - 第3回 令和6年2月2日（金曜日）内部委員9名、協議委員5名
 - ・今年度の取り組みの総括
 - ・学校評価アンケートのお願い
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和5年6月2日（金曜）内部委員10名、協議委員6名
 - ・意見交換
 - 第2回 令和5年11月30日（木曜）内部委員10名、協議委員5名
 - ・今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討
 - ・意見交換
 - 第3回 令和6年2月2日（金曜）内部委員9名、協議委員5名
 - ・意見交換

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

(1) 評価の観点

- ① 教育活動全般：学校生活満足度、生徒の様子、生活の重点、学習と部活動・行事との両立、資格取得、施設・設備、地域との連携等
- ② 学習指導：習熟度別授業、少人数制授業、補習・補講、授業評価、将来への活用、学習時間等
- ③ 生活指導：規律ある学校生活、遅刻・頭髪指導、社会のルールやマナー、安全や健康管理の指導等
- ④ 進路指導：進路情報の提供、個別面談、進路相談、進路指導室の充実等
- ⑤ 図書館利用度、読書活動
- ⑥ 働き方改革、いじめ未然防止、早期発見・解決

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・12月 全校生徒 対象： 465人 回収： 364人 回収率： 78.3%

・ 12月	保護者全員	対象： 468人	回収： 126人	回収率： 26.9%	(74.0%)
・ 2月	地域・住民	対象： 9人	回収： 8人	回収率： 88.9%	(31.7%)
・ 1月	教職員	対象： 44人	回収： 19人	回収率： 43.1%	(100%)
					(68.9%)

(3) 主な評価項目

- ① 本校の教育活動全般
- ② 学習指導
- ③ 生活指導
- ④ 進路活動
- ⑤ 読書活動
- ⑥ 働き方改革・いじめ問題

(4) 評価結果の概要 (校長や学校全般への意見・提言内容、カッコ内の数字は昨年度)

生徒のアンケートの回収率は78.3%(昨年74.0%)であり、昨年を4%上回った。一方、保護者の回収率は5%、教職員は25%ほど下回っており、保護者及び教職員の回収率を上げる必要がある。アンケート内容については、昨年度と大幅な変更はない。良否・前進後退の判断、原因の分析を行う。

① 78.6%(76.4%)の生徒が、「入学してよかった」という問いに「そう思う」「だいたいそう思う」と肯定的回答をしており、昨年度より2%増加した。いずれの学年においても8割程度の生徒が入学したことに肯定的な反応を示し、増加傾向を示している。また、「様々な資格を取得することができる」に71.8%、「学校行事が充実している」に62.4%「そう思う」と回答している。新型コロナウイルス感染症への対応が一段落し、授業や学校行事等が通常形で実施できるようになったことにより、生徒の満足度が増しているものと思われる。保護者は90.2%(90.7%)が「入学させてよかった」と答えているが、内訳を見ると1学年は89.7%、2学年は96.2%、3学年は82.4%と少し開きがある。教職員の「生徒は、第三商業に入学してよかった」という回答は76.5%(64.5%)であり、昨年より10%程度向上した。保護者は満足してくれているようであるが、「入学してよかった」「入学させてよかった」で高い評価を得るために様々な資格取得も含め、実学としての教育、授業力向上、きめ細かい指導を、生活指導面及び進路指導面で充実させていかなければならない。

② 「習熟度別授業は、自分の学習ペースにあっていて、授業理解に役立っている」等の学習指導の各項目については、いずれの項目も8割の生徒が「そう思う」「だいたいそう思う」と回答している。今後も維持・向上できるように、生徒の興味関心を引き出し、学習意欲を喚起するような授業力を身に付け、主体的・対話的で深い学びにつなげていかなければならない。「成績の振るわなかった生徒に対しての朝や放課後、休日の補習は充実している」の問いに、生徒は「そう思う」42.7%、「だいたいそう思う」40.7%と答えており、昨年度の生それぞれ28.4%、39.1%から大幅に改善した。一方、同じ問いに、保護者はそれぞれ20.7%、43.9%、教職員は17.6%、29.4%と、生徒の回答との乖離が大きくなった。自宅での学習時間について、「30分未満」37.0%(75.1%)「1時間程度」41.2%(17.4%)「1～2時間」17.2%(4.6%)「2時間以上」4.2%(2.7%)と、昨年度と比べ自宅での学習時間を増加させているようすが顕著に見られる。生徒が家庭学習の習慣を身に付けられるよう、引き続き適切な課題を与えるなど生徒に学習意欲を持たせる工夫が必要である。

③ 「進路を考えるには規律ある学校生活が必要」という問いに、生徒の81.3%(87.6%)が肯定的回答をしている。同じ問いに、保護者の95.1%(95.6%)、教員の94.1%(90.3%)が肯定的回答をしており、生徒、保護者、教員が共通の意識をもって取り組んでいることがうかがえる。

本校の生活指導の根幹として、社会のルールを守るための指導を徹底している。遅刻や頭髪指導等のマナー教育に関する問いに対して、生徒は89.0%(84.2%)が肯定的回答をしており、昨年より増加している。同じ問いに対し、保護者も90.2%が肯定的回答をしている。生活指導において、社会のルールを守る事が当然であるという理解が生徒、保護者共に得られていると考えられる。一方、教職員が82.3%と、生徒や保護者に比して低い数字となったことは改善の余地があることを示している。引き続き、ルール・マナーの重要性を理解させるとともに定着できるよう、教員の共通理解を図りつつ指導を進める必要がある。

- ④ 進路指導については、1年次からの進路指導に対する肯定的回答が70%程度となっているものの、進路情報の提供、個に応じた進路指導、進路相談等に関する肯定的回答は80%を超えている。保護者は約70%となっている。昨年度、半数以下に止まっていた進路資料室の利用は、今年度は86.4%と大きく改善した。引き続き、1・2年生から進路に興味を持って取り組んでいけるよう環境を整えていきたい。また、進路全般にわたる情報発信を充実させ、生徒、保護者の要望を確実に捉えながら指導を進める必要がある。
- ⑤ 読書活動について、「図書館を利用している」の生徒の肯定的回答は35.6%（31.9%）、「日頃から読書している」は38.7%（31.9%）と改善傾向がうかがえる。図書室の利用、未読率の減少、読書の推進を図る手立ての検討を継続していきたい。
- ⑥ 教職員の働き方改革への取組については、マスコミ等の効果もあり生徒の54.3%（47.8%）に認知されてきた。保護者は、53.7%（62.1%）であまり増えていない結果となった。教職員が52.9%（74.2%）と大幅な減少となったことは課題である。
- ⑦ いじめの未然防止や対策についての学校の対応について、生徒の74.6%（73.9%）が肯定的な回答をし、昨年度とほぼ同程度となった。これは教職員の日々のきめ細かな対応による結果である。保護者は59.7%（70.8%）と昨年度より肯定的な回答が減少する結果となった。一方で、教職員は100%が肯定的な回答をしており、学校の取組が保護者に十分周知されていない状況が考えられる。今後も全教員で生徒の様子を見守っていくとともに、対応状況を保護者により周知する方法を工夫していきたい。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

令和5年度は、6月、11月、2月と対面式での学校運営連絡協議会を開催し、協議委員と会合することで、学校の教育活動の取り組みの成果が伝わりやすく、教員の日頃の学習指導、生活指導、進路指導の現状と成果を伝えることができた。募集対策活動も成功し、近來まれにみる入学選抜の倍率1.45倍を獲得した。活動内容を広く詳細に伝えることができた。次年度も対面式で開催する。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

本校の教育活動をホームページ等で頻繁に発信しているが、地域の住民に日頃から地域の祭りや地域行事での生徒のボランティア活動などより一層PRして、支援、協力を促していくこと。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

(1) 学校教育活動全般

生徒の自己実現のために、全教職員で生徒への進路指導を改善・充実化し、生徒の進路実現100%を目指して、校長の学校経営計画の実現にさらに努める。

(2) 学習指導

生徒の学力定着のため、生徒の実態や理解度を把握しながら、指導方法の改善、適正な進度維持の調整等、学習指導法の改善や教材開発を行い、生徒の学力向上に努める。

(3) 生活指導

身だしなみやマナー、自転車の乗り方、遅刻・頭髪指導等を生徒および保護者に周知し、組織的なきめ細かな指導により、基本的な生活習慣を身に付ける。

(4) 進路指導

3年間を見通した進路指導計画を改善・充実させ、上級学年や卒業生が講師になって指導する。生徒や保護者に進路情報を計画的に発信し、きめ細かい組織的な指導を行い、生徒の進路希望を実現する。

(5) 特別活動

部活動の加入率を向上させるため、全生徒に部活動に加入するように次年度も推進する。日常的な顧問の指導のもと、指導体制や内容、補習との関係を明確にし、年間指導計画に基づく計画的・継続的な指導により、部活動の活性化を図る。

(6) 健康・安全教育

道徳教育、主権者教育、ボランティア活動、インターンシップを実施し、生徒の自尊感情、自己肯定感を高める教育の工夫を図る。また、自殺防止の観点やいじめ防止の観点から十分な指導をしていく。

自転車通学での事故防止や、乗り方のマナーの指導の徹底を図るために、江東区のスタントマンを活用した交通安全指導を実施する。

防災教育、情報モラル教育、薬物乱用防止教室やSNS・携帯教室等のセーフティ教室、健康教室を実施する。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 9人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数 8人

そう思う	だいたい そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	無回答
4	4	0	0	0

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

職員会議、企画調整会議に、協議委員は出席していない。

8 その他

今年度は対面形式で学校運営連絡協議会を3回実施でき好評を得た。